

# ビジネス英語つまみ食い

～ Grammar for Business を題材に～

4月10日(水) 10:00-15:50 (5コマ) 昼休みあり

「ビジネス英語」と聞いただけで、「企業で仕事していない私には関係ない」、「リタイアしたので以前ほど必要ないかなあ」、「ボランティアレベルだから、(ビジネス英語)のような立派な表現はいらないかも」のような皆さんの心の声が聞こえてきそうですが、それはビジネス英語の本当のよさを知らずに触れないでいる、いわば「食わず嫌い」のような状態では、と思います。イメージだけで拒むにはあまりにもったいない大事な学習ポイントが、「ビジネス英語」にはたくさん詰まっています。

確かに「ビジネス英語」と銘打った教科書や講座で扱う語句は、企業・役職・部署名、売り上げ、利益、大きな桁数の数字、上り下がり、連絡、報告、関連会社、取引先、社内・部内ミーティング、プレゼンテーションなど、かたい、もしかしたら排他的とさえ思えるイメージが先に立ち、必要ないならわざわざ時間を割いてまで学びたいとは思わないのも理解できます。

では本当に「ビジネス英語」学習が伝えようとしているのは、そうした日常とは無関係のいわゆる「ビジネス用語」だけなのでしょうか。もちろんそうではなく、ビジネス、日常にかかわらずどんな場面でもオール

マイティに使える、そして「相手に伝わる、届く」道具としての文法・語彙・発音力です。リアルな場面設定でシーンが具体的に想像できる例文は、時に退屈な文法学習による刺激を与え、語学そのものだけではなく、英語を使って他とよりよいコミュニケーションを計り関係を築く、より independent で assertive な個人になるためのヒントの宝庫とも言えます。

「ビジネス英語と一般英語の違いは何か」と尋ねられたら、語学面での違いはなく、「気心しれた相手とばかりではなく、より距離のある、気を使わなければいけない相手とのやり取りの仕方も学べること」と答えるところでしょうか。「ビジネス英語」はその名前と呼ばれるよりもむしろ、「社会人英語」と名前を変えるとその本質がより伝わるかも知れません。

こうした素晴らしいことを教えてくれる優れた教材はたくさんあり、その中でも逸品といえる *Grammar for Business* の中から一日講座で取り上げるにふさわしい箇所を選び、学びます。食わず嫌いではなく、つまみ食いの精神で、よりよいコミュニケーションを目指す「社会人英語」に触れる機会にさせていただけたらと思います。

(講座レベル:中級)

## 受講料(入学金不要)

優遇価格		通常価格	
校内生	校外生	校内生	校外生
7,000	7,400	7,500	8,000

4/3 まで優遇価格です!

※ 校内生: 2018 春学期、2018 夏期講習、2018 秋学期、2019 冬学期、2019 春学期のいずれか受講履歴のある方

- 教室は当日入り口掲示にてご確認下さい。
- 教材用印刷物は講師より授業中に配布されます。
- クラス変更はできません。
- 納金済みの受講料については一切返金しません。
- 本講座は公開講座としての開催のため、在籍期間にカウントされません



担当:大石 美幸 先生